

2023年2月7日

都道府県協会 各位
加盟クラブ 各位

公益財団法人 日本ライフセービング協会
(事務連絡)

専門委員会・専門室 委員公募のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
日頃よりJLAの諸事業に対しまして多大なるご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。
つきましては、標記の件において、下記の通り専門委員会・専門室の委員についての募集要項をJLAホームページにアップいたしますのでご案内申し上げます。

敬 具

記

- ① BLS 委員会
- ② ウォーターセーフティ委員会
- ③ サーフライフセービング委員会
- ④ プールライフガーディング委員会
- ⑤ ジュニアエデュケーション委員会
- ⑥ 学校教育推進委員会
- ⑦ 地域教育推進委員会
- ⑧ パトロール・レスキュー委員会
- ⑨ ドローンパトロール委員会
- ⑩ サーフトレーニング委員会
- ⑪ 防災対策委員会
- ⑫ アスリート委員会
- ⑬ 競技審判委員会
- ⑭ SERC 分科会
- ⑮ 国際室
- ⑯ アクアティックイベント セーフティ コーディネーター (ASC) 分科会

以上

【お問合わせ】

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-1-18 トップスビル
公益財団法人 日本ライフセービング協会
電話 03 (3459) 1445 (12:00~18:00)
メール info@jla.gr.jp



水辺の事故ゼロをめざして
日本ライフセービング協会

専門委員会・専門室 委員公募のお知らせ

1. はじめに

公益財団法人日本ライフセービング協会（JLA）では、加盟団体に登録されているみなさまのご意見や各地域のご要望をより反映した運営を実施するために、各専門委員会等にご協力いただける委員の公募を実施致しております。みなさまからのご応募をお待ちしております。

2. 公募種類

- | | |
|-------------------|---------------------------------|
| ① BLS 委員会 | ⑨ ドローンパトロール委員会 |
| ② ウォーターセーフティ委員会 | ⑩ サーフトレーニング委員会 |
| ③ サーフライフセービング委員会 | ⑪ 防災対策委員会 |
| ④ プールライフガーディング委員会 | ⑫ アスリート委員会 |
| ⑤ ジュニアエデュケーション委員会 | ⑬ 競技審判委員会 |
| ⑥ 学校教育推進委員会 | ⑭ SERC 分科会 |
| ⑦ 地域教育推進委員会 | ⑮ 国際室 |
| ⑧ パトロール・レスキュー委員会 | ⑯ アクアティックイベント セーフティ コーディネーター分科会 |

3. 任 期 委員任命日（2023年4月）～2025年3月31日（2年間）

4. 募集人員 各委員会とも若干名を予定 ※別途、委員会ごとに記載あり

5. 募集期間 2023年2月6日（月）～ 2023年3月3日（金）

6. 申込方法 Google フォームからのお申込みとなります。
下記 URL または QR コードからエントリーしてください。
URL : <https://forms.gle/1ZMhMyul8wjripKH8>



7. 承 諾 加盟クラブに所属している方は、代表者の承認を得てからお申し込みください。

8. 選考方法 申込内容、経験及び地域性を考慮して選考し、応募者に通知します。
必要に応じて面接または、電話・メール等によって申込内容の確認を行う場合があります。

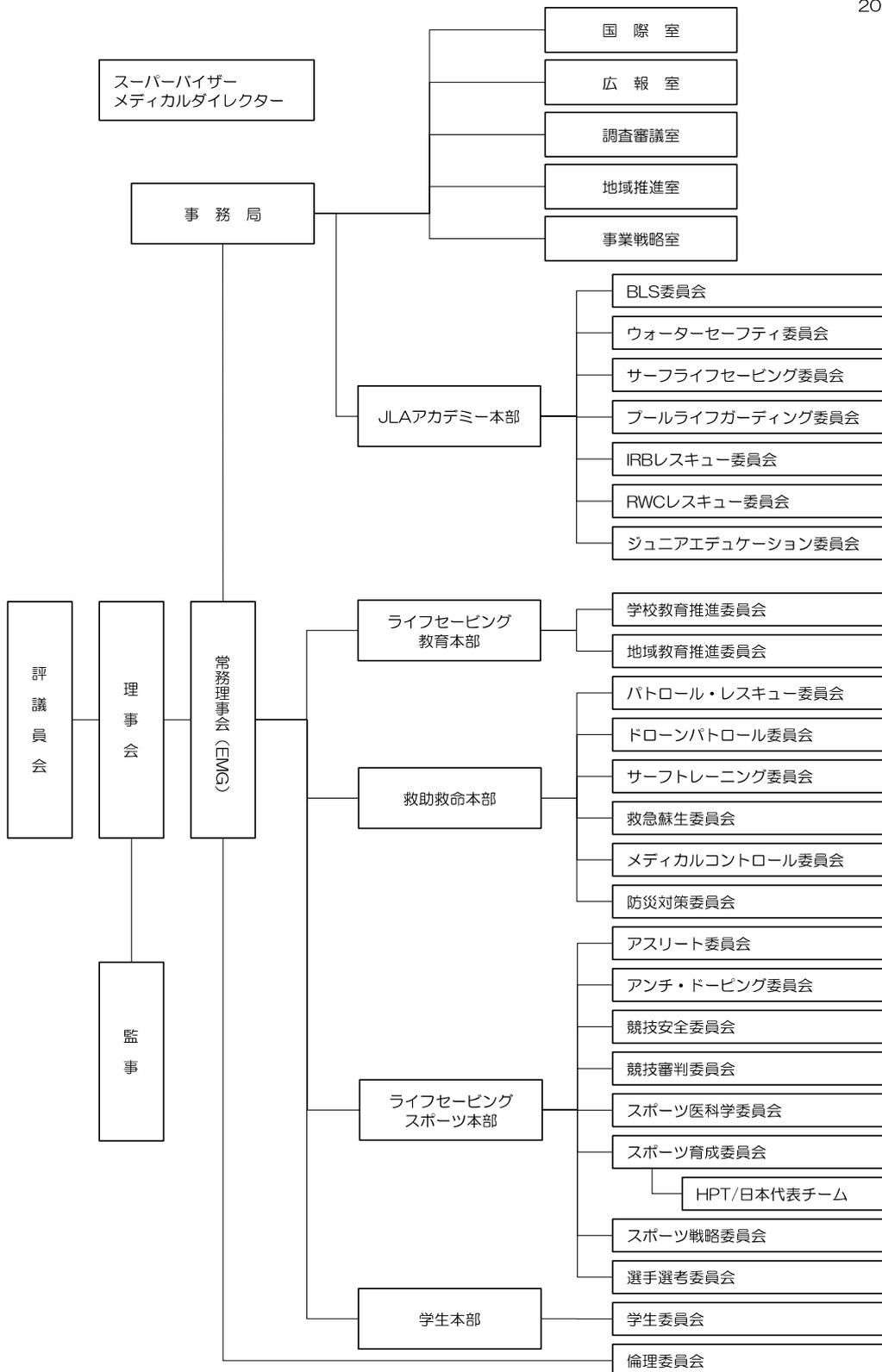
9. 旅費日当 会議又は事業実施の際に、会議日当及び実費交通費を支給いたします。
(JLA 専門委員等の謝金並びに費用に関する規程に準ずる)

10. 解 任 3ヶ月程度の活動実績(メール返信含む)が無い方については、解任される場合があります。

11. 問合せ先 <JLA 事務局>
住 所 : 〒105-0013 東京都港区浜松町 2-1-18 トップスビル1F
電 話 : 03-3459-1445 (12:00~18:00)
メール : info@jla.gr.jp

資料：2023年度 専門委員会及び専門室の編成案

2023年3月現在



- ① BLS 委員会
- ② ウォーターセーフティ委員会
- ③ サーフライフセービング委員会
- ④ プールライフガーディング委員会
- ⑤ ジュニアエデュケーション委員会

※IRB レスキュー委員会、RWC レスキュー委員会の公募はありません

【 概 要 】

JLA アカデミーでは、資格別に委員会を設置し、各資格の講習カリキュラムの改変・作成、指導方法の確立、指導員のレベルアップ及び育成、テキストや指導要項など関連資料の作成などを行っています。各委員会にはアカデミー本部で選出した委員長を配置し、その委員長を中心に、各資格に応じた課題解決を図るため活動しています。

【 活動内容 】

年数回の委員会会議開催、指導員育成講習会（年数回、全国各地）の企画及び指導、関連資料の作成を行います。各委員会の主な課題は、[別紙1.]をご覧ください。

【 応募条件 】

- 保有資格：
 - ・ 当該委員会のインストラクターを保有していること。なお2回以上更新していない場合、指導員養成講習会には指導員として参加できない。
- 基本的なPCスキル（ワード、エクセル、パワーポイントなど）があること。
- ZOOM等のリモート会議、メールやクラウド上でのファイル管理を頻繁に行う為、PC含むネットワーク環境を所有していること。（JLAからのPC貸与はありません）
- JLA アカデミー指導員規程に則り、全指導員の規範となり、当該資格のレベル向上、普及に貢献する強い意志があること。

【 選考方法 】

- 応募者の実績、課題に対する適応性、地域性を考慮して、当該委員会の委員長が選考し、アカデミー本部長、副本部長が承認します。
- 各委員会の構成人数は4名前後（委員長を除く）とし、継続する委員を除いた人数を募集します。よって各委員会ともに数名程度の募集となります。
- アカデミー本部の管轄する委員会の兼任は基本的には認めません。
- 当該委員会の委員長が指名した委員（前年度委員含む）に関しては、公募委員とは別に選考し、アカデミー本部長、副本部長が承認します。各委員会の課題に対して専門的な知識を有する場合は、アシスタントインストラクター資格でも選考する場合があります。

[別紙1.] JLA アカデミー本部 委員会詳細（公募しない委員会の情報も記載しています）

● アカデミー本部体制（公募無し）

- 2023年度の主な活動及び課題
 - ・ 指導員・講習会の質の向上に向けての取り組み
 - ・ リモート講習会の運営方法、指導方法の構築と共有
 - ・ 指導員資格更新講習会の開催
 - ・ IRB、RWC 資格のILS 認証

● **BLS 委員会**（公募有り）

- 2023 年度の主な活動及び課題
 - ・ BLS スキルアップセミナーの開催（「観察」のスキルアップ向上を図る）
 - ・ 指導員が指導法を学べる機会の創出
 - ・ 講習会ごとの指導員報告書の情報集約および発信方法の構築
 - ・ Q-CPR 導入に向けての検討
 - ・ 指導から遠ざかっている指導員の現場復帰のサポート体制構築
 - ・ 全国各地での指導員養成講習会の企画・運営および関連資料の再構築

● **ウォーターセーフティ委員会**（公募有り）

- 2023 年度の主な活動及び課題
 - ・ 大学教職課程でのWSプログラムの導入
 - ・ 義務教育、体育授業の水泳におけるWSプログラムの導入
 - ・ 「海なし県」に対する WS 講習の普及・啓発
 - ・ 全国各地での指導員養成講習会の企画・運営および関連資料の再構築

● **サーフライフセービング委員会**（公募有り）

- 2023 年度の主な活動及び課題
 - ・ 教本の改訂および指導要領・検定要領・指導関連資料の改正
 - ・ 教本、指導補助資料に必要な写真、動画撮影
 - ・ 全国各地での指導員養成講習会の企画・運営および関連資料の再構築

● **プールライフガーディング委員会**（公募有り）

- 2023 年度の主な活動及び課題
 - ・ 教本の改訂および指導要領・検定要領・指導関連資料の改正
 - ・ 「海なし県」に対する PLG 講習の普及・啓発
 - ・ プール監視業務に係る諸団体・企業との協調活動
 - ・ PLG 教育の普及啓発のための調査、提言
 - ・ 指導員養成講習会の企画・運営

● **ジュニアエデュケーション委員会**（公募有り）

- 2023 年度の主な活動及び課題
 - ・ リーダー講習会テキストの改訂
 - ・ ジュニアライフセービングバッジテスト制度の普及と運用
 - ・ ジュニア資格（リーダーおよび指導員）対象スキルアップ研修会の開催
 - ・ 各地での指導員養成講習会の企画・運営

● **IRB レスキュー委員会**（公募無し）

- 2023 年度の主な活動及び課題
 - ・ 新 IRB 教本の内容に合わせた指導補助教材の作成
 - ・ IRB 講習会の指導要領・検定要領の改訂および e-learning 教材の作成、導入
 - ・ 波のある環境下でのスキルアップ研修会の開催
 - ・ 全国各地での IRB 講習会及び指導員養成講習会の企画・運営および関連資料の再構築

● RWCレスキュー委員会（公募無し）

- 2023年度の主な活動及び課題
 - ・ 指導要領・検定要領の改訂、指導員養成講習会指導要領・検定要領の作成
 - ・ RWC 教本および指導補助教材の作成
 - ・ RWC 備品（スレッドやライフジャケット等）に関する検証
 - ・ 他団体との連携の確立
 - ・ RWC 講習会及び指導員養成講習会の企画・運営

⑥学校教育推進委員会

【 概 要 】

学校教育へのライフセービング導入は、ウォーターセーフティ、BLS、スポーツ、環境、防災等、様々です。学齢、住んでいる地域、教育環境等に合わせた授業実践と、それらを提供しやすい仕組みづくりを考案していきます。その上で『e-Lifesaving』と実技教育の融合を目指したカリキュラム構築と展開を目指します。

【 活動内容 】

- 上記を着実に進めるためには、メールや Web 会議が中心となります。
- 教育委員会や学校への直接協議（授業展開への提案、教育実践等）を促進していきます。
- 実践した教育内容の調査分析、報告書を作成します。またそれらをライフセーバーや教員の指導活用に向けた発信、研修を行います。
- e-Lifesaving の更なる充実と全国展開を目指します。

【 応募条件 】

- インストラクター又はアシスタントインストラクターを所有していること（コース不問）。もしくは近い将来それを目指す志のある方。
- ジュニア・ライフセービング教育や学校教育などへの現場経験があり、JLA アクションプランへの具体的な原動力となり、ご尽力いただける方。

【 選考方法 】

- 応募者の実績、課題に対する適応性、地域性を考慮して、委員長が選考しライフセービング教育本部長、副本部長が承認します。
- 委員の人数は若干名となります。

⑦地域教育推進委員会

【 概 要 】

ジュニア・ライフセービング教育の実施拡大を目指すために、器材支援や具体的な教育支援を行っていきます。地域クラブにおける継続的なジュニア活動は、水辺の楽しさを通じて事故防止の知識と技能を定着させるために重要です。ウォーターセーフティ、BLS、スポーツ、環境、そして防災教育を各年齢期で横断的に学べるフレームワーク作りを目指します。

【 活動内容 】

- 上記を着実に進めるためには、メールや Web 会議が中心となります。
- 何を、どこに、どのように支援したら「0が1」になるかを協議し、現場視察や対話を重視しながら、有益な支援を検討・展開していきます。
- ジュニア・ライフセービング教育の魅力と可能性についての情報発信、研修を展開し、年間を通じた継続的活動への支援を行います。
- e-Lifesaving の更なる充実と全国展開を目指します。

【 応募条件 】

- インストラクター又はアシスタントインストラクターを所有していること（コース不問）。もしくは近い将来それを目指す志のある方。
- ジュニア・ライフセービング教育や学校教育などへの現場経験があり、JLA アクションプランへの具体的な原動力となり、ご尽力いただける方。

【 選考方法 】

- 応募者の実績、課題に対する適応性、地域性を考慮して、委員長が選考しライフセービング教育本部長、副本部長が承認します。
- 委員の人数は若干名となります。

⑧パトロール・レスキュー委員会

【 概 要 】

ライフセーバーに必要なパトロールスキル及びレスキュースキルの向上に関する活動、公的救助機関との連携促進に関する活動を行います。

【 活動内容 】 活動番号

1. 委員会基本事業

- シミュレーション審査会の企画運営
- パトロール報告会（旧症例検討会）の企画運営
- レスキューミーティングの企画運営
- パトロールユニフォームやライフセーバーの使用する各種資器材に関すること
- パトロール及びレスキューに関連するガイドライン等作成
- スイフトウォーターレスキューに関すること
- 海水浴場ヒアリング調査
- 惨事ストレス対策に関すること
- その他パトロールに関連する必要な事業

2. 消防諸機関に対して IRB を活用した監視・救助・救護等の安全管理のための知識や技術の普及, IRB に関する整備会の企画運営

- IRB 教本の作成・出版
- IRB を含む動力船を活用した他スポーツ団体の監視救助活動の受託業務
- IRB を活用した大規模自然災害派遣にかかわる企画運営

3. 要介護者スイミング支援に関すること

- 要介護者スイミング支援事業含む

【 応募条件 】

必須条件（下記すべての条件を満たしている方）

- 認定ライフセーバー以上の資格保有者（サーフ又はプール指導員資格保持者が望ましい）。
- 海水浴場等でのライフセービングの活動実績を有する者（応募時にこれまでの水浴場監視業務活動年数を記載してください）。
- 所属クラブや学校、職場等で事業の企画、運営、予算作成などの実務に携わった経験がある方で、基本的な PC スキルのある方（Word、Excel、PowerPoint）。
- 会議（オンライン含む）への参加やメール、LINE、電話等で各委員とのコミュニケーション・レスポンスが円滑に図れる方。

選考条件

- 上記活動番号毎、若しくは複数の活動番号で活動を希望し、具体的な活動プラン（提案）を有する方。
- JLA 委員会活動実績を有する方。
- 上記活動番号 2.に関しては、IRB に関する事業に興味があり、率先して器材及び知識の維持管理に取り組める方（IRB 指導員資格保持者が望ましい）。

【 選考方法 】

- 応募される方は、当委員会の活動内容の中で、活動希望の番号を応募フォームに記入しエントリーしてください。複数希望可。
- 応募者の実績、課題に対する適応性、地域性を考慮して、委員長が選任し救助救命本部長、副本部長が承認します。

⑨ドローンパトロール委員会

【 概 要 】

ライフセーバーに必要なドローンパトロールに関する知識や技術の向上に関する活動、関係行政との連携促進に関する活動を行います。

【 活動内容 】

- ドローンパトロールを数海岸にて試験運用
- サーフライフセービングオーストラリアの新しい技術提供
- 他機関との連携
- ドローンパトロール研修会の開催
- ドローンパトロール審査会の企画運営
- ドローンパトロールの活動地域への派遣

【 応募条件 】

必須条件（下記すべての条件を満たしている方）

- 認定ライフセーバー以上の資格保有者。
- 海水浴場等でのライフセービングの活動実績を有する者（応募時にこれまでの水浴場監視業務活動年数を記載してください）。

- 所属クラブや学校、職場等で各種事業の企画・運営・予算作成に携わった経験がある方で、基本的な PC スキルのある方（Word、Excel、PowerPoint）。
- 必要に応じ開催される、会議（オンライン含む）への参加やメール、LINE、電話等で各委員とのコミュニケーション・レスポンスが円滑に図れる方。

選考条件

- ドローンパトロールに関する事業に興味があり率先して器材及び知識の維持管理向上に取り組める方。

【 選考方法 】

- JLA 全体に対し、委員会・分科会の運営を円滑並びにバランスが取れた状態にするため、応募者の実績、課題に対する適応性、地域性、他の JLA 委員・分科会委嘱の有無についても考慮して、委員長が選任し救助救命本部長、副本部長が承認します。

⑩サーフトレーニング委員会

【 概 要 】

ライフセーバーのサーフトレーニングに関する知識や技術、リスク管理の指導および助言を行います。委員は委員会が企画運営するサーフトレーニングクリニック（海でのトレーニング方法やリスク管理）のコーチとして活動します。

【 活動内容 】

- サーフトレーニングクリニックの企画運営（年数回、各地域で開催）
- 女性のライフセーバー復帰に関する取り組み
- 海でのトレーニングやリスク管理に関するガイドライン等作成

【 応募条件 】

必須条件（下記すべての条件を満たしている方）

- 認定ライフセーバー以上の資格保有者。
- 海水浴場等でのライフセービングの活動実績を有する者（応募時にこれまでの水浴場監視業務活動年数を記載してください）。
- サーフトレーニングに十分な経験を有しサーフスキルが高い方（自己判断）。
- 会議（オンライン含む）への参加やメール、LINE、電話等で各委員とのコミュニケーション・レスポンスが円滑に図れる方。

選考条件

- 委員会の概要や活動内容を理解し、積極的に関わられる方。
- ライフセーバーとしての活動実績。
- サーフスキー、パドルボード等、アスリートとしての活動実績。

【 選考方法 】

- 応募者の実績、課題に対する適応性、地域性を考慮して、委員長が選任し、救助救命本部長、副本部長が承認します。

⑪防災対策委員会

【 概 要 】

津波避難に関する防災訓練のサポートをはじめ、それに関わる知識や技術、助言を各地域に広報します。委員は各地域が企画運営する津波避難訓練（海浜利用者とともに方法やリスク管理）の支援者として活動します。

【 活動内容 】

- 津波対策に関するガイドラインの作成
- 津波避難訓練サポートの実施

【 応募条件 】

必須条件（下記すべての条件を満たしている方）

- 認定ライフセーバー以上の資格保有者。
- 海水浴場等でのライフセービングの活動実績を有する者（応募時にこれまでの水浴場監視業務活動年数を記載してください）。
- 所属クラブや学校、職場等で各種事業の企画・運営・予算作成に携わった経験がある方で、基本的な PC スキルのある方（Word、Excel、PowerPoint）。
- 必要に応じ開催される、会議（オンライン含む）への参加やメール、LINE、電話等で各委員とのコミュニケーション・レスポンスが円滑に図れる方。

選考条件

- 防災に関する事業に興味があり、率先して委員会活動に取り組める方。

【 選考方法 】

- JLA 全体に対し、委員会・分科会の運営を円滑並びにバランスが取れた状態にするため、応募者の実績、課題に対する適応性、地域性を考慮して、委員長が選任し、救助救命本部長、副本部長が承認します。

⑫アスリート委員会

【 概 要 】

ライフセービング競技会開催に伴って、各大会実行委員会や運営に参加し、選手代表として競技者の思いや、考えを加えた大会実施の提議を行います。また、選手の規律や規範を保つことの出来るルール作りや、幅広い選手層へのモチベーション、競技力の向上、他のスポーツ団体や企業との連携強化などを行います。

【 活動内容 】

- ライフセービング競技会 各実行委員会への参加
- 選手の規律や規範に関わるルール作り
- 選手の意欲・競技力向上を期待するイベント協力、開催
- 他のスポーツ団体・企業との連携強化 他

【 応募条件 】

- 都道府県ライフセービング協会または加盟クラブに所属していること。
- 保有資格：JLA 認定ライフセーバー資格を所有していること。
- 年齢が 18 才以上で、かつ、JLA 選手登録者のうち、JLA 主催競技会に過去 5 年以内の出場経験がある者（ジュニアユース担当を除く）。
- 地域クラブまたは学校においてジュニアユースの育成に携わっている者（ジュニアユース担当に限る）。

選考条件

- 委員会の概要や活動内容を理解し、積極的に関われる方。
- アスリートとしての活動実績（ジュニアユース担当を除く）
- ジュニアユースの育成実績（ジュニアユース担当に限る）

【 選考方法 】

- 応募者の実績、課題に対する適応性、地域性、性別や競技・種別等のバランスを考慮して、担当委員長が選考し、スポーツ本部長、副本部長が承認します。

⑬競技審判委員会

【 概 要 】

より良い競技運営を目指し、選手が最高のパフォーマンスを発揮できる環境、審判員が活動しやすい環境を作るために、一緒に尽力して下さるかたを求めています。

【 活動内容 】

- JLA 主催各公式競技会の進行
- 競技会運営方法の改善検討
- 審判員制度の改善検討
- C 級審判員養成講習会の企画・運営
- 審判員研修会の企画・運営
- コンペティションキャップ登録・管理
- 競技規則の更新
- 審判員活動履歴の管理
- 競技器材の諸調整

【 応募条件 】

- 都道府県ライフセービング協会または加盟クラブに所属していること。但し、未成年及び学生は不可となります。
- 保有資格：下記 JLA 認定資格の両方を取得していること。
 - ・ JLA 認定 BLS 資格
 - ・ JLA 認定審判員資格
- 基本的な PC スキル（Word、Excel、PowerPoint など）があること。
- Zoom などでのリモート会議、電子メールや Dropbox 等でのファイルのやり取りを頻繁に行う為、PC 含むネットワーク環境を所有していること（JLA から PC 貸与ありません）。

【 選考方法 】

- 応募者の実績、課題に対する適応性、地域性を考慮して、担当委員長が選考し、スポーツ本部長、副本部長が承認します。
- 専門委員の人数は若干名となります。

⑭SERC 分科会

【 概 要 】

2023～2024 年度の国内における SERC 競技会開催に向けて、専門委員を募集します。

- ライフセービングスポーツ本部 （2023 年度委員会編成案）
 - ↳ 競技審判委員会
 - ↳ SERC 分科会

【 活動内容 】

- SERC 競技会のディレクション
- SERC シナリオ作成
- 事業運営
- 国内における SERC の普及
- 海外における SERC 競技会の研究、HPT 強化の協力

【 応募条件 】

- 都道府県ライフセービング協会または加盟クラブに所属していること。
- 保有資格：
 - ・ JLA 認定審判員資格を所有していること
 - ・ JLA 認定ライフセーバー資格を所有していること
 - ・ JLA 指導員資格を所有していることが望ましい
- 基本的な PC スキル（Word、Excel、PowerPoint など）があること。
- Zoom などでのリモート会議、電子メールや Dropbox 等でのファイルのやり取りを頻繁に行う為、PC 含むネットワーク環境を所有していること（JLA から PC 貸与ありません）。
- 国内外の SERC 競技会において、SERC のシナリオ作成や運営、審判に携わったことのある経験者を優先します。
- 今後、本協会主催 SERC の競技会に競技者として出場を希望する方はご遠慮願います。また同様に本委員への委嘱を受けた方は、本協会主催 SERC の競技会に競技者として出場することはできません。

【 選考方法 】

- 応募者の実績、課題に対する適応性、地域性を考慮して、担当委員長が選考し、スポーツ本部長、副本部長が承認します。
- 分科会専門委員の人数は若干名となります。

国際室

【 概 要 】

各種翻訳、通訳、企画のコーディネートその他、国際室の広報室委員としてJLAの広報事業に携わっていただける方を募集します。

【 活動内容 】

- 年間に3~4回のミーティングを実施します。
- ILS及び各国からの書類等の翻訳作業が多くなります。
- 将来的には国際大会の選手エントリー準備、通訳としての帯同の可能性もあります。
- 国際室の広報委員として広報事業の仕事を担当してもらいます。
- JLAの事業に対しての語学的サポートその他、JLA事業に対してさまざまな側面からクリエイティブな活動をしていきます。

【 応募条件 】

- 英語で読み書き、会話ができる方。もしくは英語に対して向上心がある方。応募申込の経歴のところに海外経験、英語の資格があれば記載ください。
- 基本的なPCスキル（ワード、エクセル、パワーポイントなど）があること。
- ZOOMなどでのリモート会議、メールやドロップボックスでのファイルのやり取りを頻繁に行う為、PC含むネットワーク環境を所有していること。LINEグループでのコミュニケーションができること。（JLAからのPC貸与はありません）

【 選考方法 】

- 応募者のライフセービングに対する取り組みや意識、英語に対する向上心をみて、室長が選考します。
- 若干名の募集となります。

アクアティックイベント セーフティ コーディネーター (ASC) 分科会

【 概 要 】

全国における水辺の各種競技会の安全管理体制の構築と、それらの競技発展のサポートを目的とし「アクアティックイベント* セーフティコーディネーター (ASC)」を募集します。アクアティックイベント」とは水辺を活用したイベント全般を指しますが、ここでは水辺で開催されるオープンウォータースイミング、トライアスロンや、プールで行われる各水泳競技等と定義いたします。

全国各地においてアクアティックイベントが盛んに開催されている中、安全管理体制が十分でない競技会も散見されています。重大事故が起こった際には正確かつ迅速な状況把握・判断が求められ、そのためには十分な知識と経験の積み重ねが必須です。JLAが掲げる「水の事故ゼロ」に向けて、主催者側との事前準備を含めた安全管理全般を任せられるライフセーバーの育成が急務とされています。

今回募集するアクアティックイベント セーフティコーディネーターを中心に、確かな技術と知識を持った JLA 認定ライフセーバーが安全管理に携わっていくことで、ライフセービングを通じた各種競技会の安全な運営や発展に繋げていきます。また水辺の安全啓蒙活動や新たなライフセービングやライフセーバーの発掘の場としても活用を期待しております。

【 活動内容 】

- JLA が関わる各種アクアティックイベント安全管理に関わる下記業務
 - ・ 主催者との事前準備と打ち合わせ
 - ・ アクアティックイベントに対する安全管理情報の発信と助言
 - ・ 安全管理体制構築の段取り
 - ・ アクアティックイベント当日のコーディネート
 - ・ JLA イベント安全管理委員会との情報共有と調整、会議への参加
 - ・ JLA が安全管理業務を担っているアティックイベントへの研修参加
- ※JLA に派遣要請がある競技会、日本選手権、国際競技会等における安全管理への派遣は、原則として ASC の中から選任します。

【 応募条件 】

- 保有資格：JLA アドバンスサーフライフセーバー又はアドバンスプールライフガード
※インストラクター（サーフまたはプール）以上が望ましい。
- 継続的にライフセービングをしており、今後もライフセービングの普及・発展に貢献できる方
- 心身ともに健康である方、喫煙習慣の無い方
- 各種アクアティックイベントにおいて、安全管理の実務経験が豊富な方、コーディネートの実績がある方
- JLA の代表として対外的に渉外のできる方
- 所属クラブ代表者の承諾（推薦）を得られる方、所属クラブの無い方はインストラクターの推薦を得られる方

【 選考方法 】

- 応募内容、経験、地域性を考慮して、事業戦略室イベント安全チームが選考し、室長が承認します。
- ライフセービング以外のアクアティックイベントの競技経験や、関連資格の有無も選考対象といたします。

以上